

玉川上水ミニ観察会

2022年12月4日(日)

花が少ない季節。大石さんが冬に咲く花のお話や葉っぱのお話をしてくれました。カラフルな落ち葉を見たり、触って感触を確かめたりしながら解説を聞きました。

ヤツデの白い花には、蜜を舐めに蜂がやって来ていました。葉の上で体をあたため、筋肉が動きやすくなってから飛ぶそうです。

マサキの青々とした葉の上では白い子房が弾け、オレンジの種が鮮やかに見えました。ゴンズイの葉は紅葉してグラデーションになっていました。ヤマコウバシの黒い実を口に含んでみると、辛みと独特の香り、口に残る渋みがありました。

あちこちでフユシャクがひらひら舞っていました。フユシャクと呼ばれるシャクガは40種以上いるそうです。(尾川)



マサキ

署名活動+ミニ観察会

@小平中央公園南西入口(兎橋)

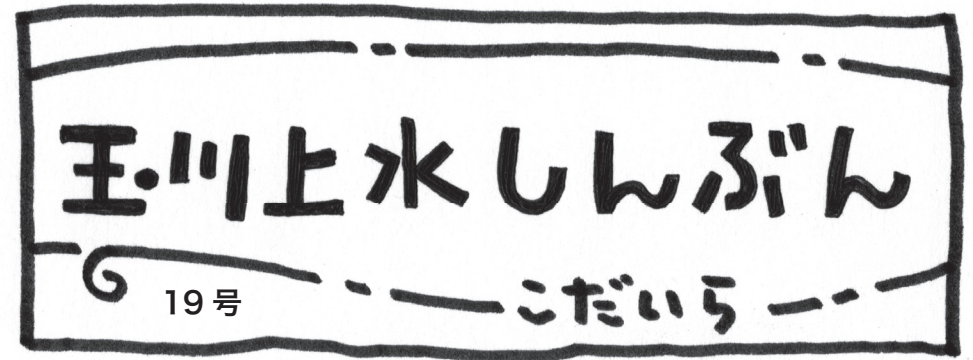
3月11日(土)、4月2日(日)、
5月7日(日)、6月4日(日)、
7月2日(日)(予定。変更の場合あり。
雨天中止。問合せ先にご確認ください)

10:00-10:30 玉川上水保全署名
10:30-12:00 頃 ミニ観察会

講師：大石征夫さん

問合せ：090-8341-9170(水口)

*玉川上水しんぶんメール配信申込みは以下へお願いいたします。
midoritsunagari@gmail.com



発行日：2023年2月5日

題字：石渡希和子

発行人：みどりのつながり市民会議 <https://midoritsunagari.wordpress.com/>

問合せ先：電話 090-8341-9170 メール midoritsunagari@gmail.com

玉川上水の柵は 自然観察がしやすいものに

2022年2月初めに玉川上水花マップネットワークのメンバーから、小平監視所から西中島橋までの左岸の柵が付け替えられたが、新しい柵は黒くて高く、柵の縦棒の間隔も狭くて、とても観察しにくい、と報告がありました。

緑地西部公園事務所、東京都水道局への働きかけ

現地を確認すると、以前の柵は高さ70cmほどでしたが、新しい柵は高さ110cm、柵の縦棒の間隔が約11cmで、黒い檻のように見えます。この柵を設置した東京都建設局西部公園緑



地事務所に聞くと、玉川上水整備活用計画に従って玉川上水の柵は統一する方向で、2022年度はこの黒い柵を新小川橋から久右衛門橋間の左岸に新設予定とのことでした。

そこで、小平市玉川上水関係者連絡会や花マップネットワークのメンバーらで対策を話し合い、4月19日に西部公園緑地事務所を訪問し、新しい柵の問題点を伝えました。緑地事務所では、安全管理のためには高さ110cmの柵が必要で、そのために今年度確保した予算は使いたいとのことでした。

この問題についてより多くの人に知ってもらうため、5月1日に柵の見学イベントを実施し、6月3日に、緑地事務所に柵設置の再考を求める要望書を提出しました。さらに7月5日には、柵統一の根拠である玉川上水整備活用計画を策定した東京都水道局に根拠の妥当性について聞き、玉川上水の法面が直壁状である部分等には高さ110cmの転落防止柵を設置する方針だが、法面の状態は正確に把握していないことなどがわかりました。

今後も注視が必要

以上の論点をふまえ、昨年10月3日に、柵設置の必要性の確認と、高さ110cmだとしても、もっと自然観察がしやすいタイプの柵にするよう求める要望書を西部公園緑地事務所に手渡しました。これらの活動が功を奏し、同事務所は、2022年度には新しい柵を設置せず、設置の仕方について再考することになりました。多くの市民の熱意が実を結んだことはいはうれしいのですが、計画が中止になったわけではなく、今後も注視が必要です。

(水口)

玉川上水には、変形菌がたくさん



6年前、高野丈さんと当時中学生だった変形菌少年・増井真那くんを中心に、玉川上水で変形菌の観察会を始めました。初観察では2時間で16種見付き、真那くんは「1度でこれほど見つかるのは、あまりない」と言ってました。これまでに約40種もみつかったのは、玉川上水

が山から繋がった水路であることと関係しているのかもしれませんが。変形菌は、ある時は動物(アメーバ)の様に這い回り、ある時は植物(きのこ)の様に変身し、胞子を飛ばして命をつなぎます。「落ち葉を食べる細菌を食べるので、落ち葉はゆっくり分解され、森が緑のダムになることに大きく貢献している」と高野さんからお聞きし、驚きました。単細胞で脳も神経系もないのに、知的な動きをすることや、数億年前の琥珀の中に、今と同じ変形菌が発見されたことから、原始的ではあるけれどこれ以上変わる必要のない、出来上がった生き物なのかもしれません。

私は、生命の進化について何かヒントが得られるような気がしてならない生き物だと感じています。(リー智子)



桐山理恵撮影 クモノスホコリ